



主体的に活動する子どもを育成 ～生活科・「上小タイム」～

校長 竹下 護

学校での仕事を終え、職員玄関を開けるとキンモクセイの香りがしてくるようになりました。校門を出て120段の階段を下ると、オシロイバナの香りがします。花の香りに癒やされ、坂道を上大岡駅方面へ下りながら、私の上小スイッチはオフになります。

新年度が始まって半年が経ち、前期の締めくくりを迎えようとしています。前期の終業式の日、担任が一人ひとりに「あゆみ」を渡します。その中には、担任や専科教員などが捉えたお子様の成長やこれから伸ばしていきたいことなどが書かれています。ご家庭でお子様のおよさを認めたり、これからの伸長について対話したりするきっかけに「あゆみ」を活用していただくことを願っています。

さて、本校では、学校教育目標「ぐんぐん にっこにっこ きらきら輝く 上小の子」の実現を目指し、日常生活や社会との関わりを重視するなどして、生活科や「上小タイム（総合的な学習の時間）」の学習を進めています。今年度の「上小タイム」は、写真で示した内容です。

また、今年度、生活科及び総合的な学習の時間は、次のような子どもの姿が現れることを目指して授業づくりをしています。



「問題を見出し、共に認め合いながら、主体的に活動する子ども」
～じっくり聴いて考えを深め表現するための授業づくり～

各担任が子どもたちと共に「じっくり聴いて考えを深め表現するための授業」をつくり、「問題を見出し、共に認め合いながら、主体的に活動する子ども」を育成するため、今後ご家庭や地域の方には、ご理解やご支援をお願いします。皆様と関わり合いながら力を付けていきます。

